

令和6年10月（第12回）光市教育委員会会議の要旨

1 開催日時

令和6年10月24日（木） 午後2時00分～午後2時50分

2 場 所

光市役所防災庁舎 2階災害対策本部会議室

3 出席者

伊藤教育長、寺崎委員、平岡委員、武田委員、岩佐委員

4 事務局

升教育部長、加川教育部次長兼教育総務課長、吉永ひかり学園推進課長、原田学校教育課長兼部活動改革推進室長、田中学校教育課主幹、国広文化・社会教育課長兼人権教育課長、三好スポーツ推進課長、眞嶋図書館長、高橋学校給食センター所長、秋友教育総務課経理係長

5 教育長報告

- (1) 第14回伊藤公カップ英語スピーチコンテストの開催について
- (2) 文化・スポーツ関連の行事について
- (3) ご寄附の報告について

6 議 事

(1) 報 告

ア 報告第64号 財産の取得について（追認）

(ア) 概 要

令和6年第3回光市議会で追認を得た財産の取得について、事務局より説明。

(イ) 内 容

光市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定に基づき、議会の議決に付さなければならない予定価格2,000万円以上の動産の買入れを、議決を経ずに行ったことについて、市議会の追認の議決を得たことを報告するもの。

(ウ) 主な意見等

① 意 見

関係法令には予定価格2,000万円とあり、実際の購入額は税込で2,000万円を超えるものとなっているが、予定価格と取得価格の関係について伺いたい。

回 答

教師用教科書及び指導書は、価格が固定されており、入札等により取得価格が変

動するものではないため、我々が想定する予定価格は取得価格と同額となる。

意見

令和2年度から取得価格が2,000万円を超えているが、これは消費税増税や物価高騰が影響したものなのか。

回答

教科書改訂に伴う教師用教科書・指導書の購入は、基本的に4年に1度実施している。令和2年度以降、予定価格が2,000万円を超えた要因としては、物価高騰に加え、高価なデジタル教材の普及によるもの。また、特別支援学級に通う児童が増加傾向にあり、それに携わる教師が使用する指導書等が増加しているという面もある。

意見

チェック体制を見直し、再発防止に努めていただきたい。

イ 報告第64号 浅江中学校移転改修工事請負契約の締結について

(ア) 概要

浅江中学校移転改修工事請負契約の締結について、事務局より説明。

(イ) 内容

概要のとおり。

(ウ) 主な意見等

意見

応募が1者しかなかったとのことだが、公募方法について教えていただきたい。

回答

公募方法は公募型プロポーザル方式を採用し、本社機能が県内にあること等一定の要件を加えているが、ある程度広く参加できる状況を整備している。

最終的に1者という結果となったが、工事と設計を別々に発注する手法が一般的には多い状況で、今回は短期間での整備という点もあり、工期の短縮に係る工夫等の提案を受けることを目的として公募型プロポーザル方式を採用したものであるが、設計と施工をセットにしたことが影響した面があるのかもしれない。

意見

柳井市のみどりが丘図書館を視察した際に、設計を有名な方に依頼し、その方のアイデアを実現し、素晴らしい成果を得ていた。学校と図書館で異なる点や予算上の課題はあると思うが、柳井市の取組を参考にすることは考えられないか。

回答

今回参加した事業者は、学校施設の整備実績を有する事業者だが、より専門的な視点という面で言うと、浅江中学校においては、学校建設の専門家とアドバイ

ザリー契約を締結しており、その方も協議に参加いただいている。また、やまと学園については、同様にプロポーザルで応募があった事業者と契約しているが、市がアドバイザー契約を締結した事業者と連携し、定期的な協議等を実施しながら事業を進めている。

ウ 報告第65号 令和6年度光市一般会計補正予算（第3号）について

（ア）概要

令和6年度光市一般会計補正予算（第3号）について、事務局より説明。

（イ）内容

概要のとおり。

（ウ）主な意見等

① 意見

大和小学校におけるスクールバスの運行について、将来的にはやまと学園も同様の流れでの対応を予定しているのか。

回答

今回の3年間の運用の中で課題等を抽出し、令和10年度からのやまと学園の本格的な運用に活かしていきたい。

エ 報告第66号 令和5年度光市一般会計教育費関係決算について

（ア）概要

令和5年度光市一般会計教育費関係決算について、事務局より報告。

（イ）内容

概要のとおり。

（ウ）主な意見等

① 意見

石城山の神籠石保存活動について、光市と大和町が合併した当初には、神籠石サミットなどが開催され、多くの地域の方が支障木の伐採などに参加していたが、現在もそういった活動は続いているのか。

回答

現在も有志の方が活動しており、整備に必要な原材料の提供や水門付近の除草作業などにより、活動を支援している状況。

神籠石サミットについては、光市が発起人という面もあり、連続して光市で開催した時期もあるが、現在は参加する自治体が持ち回りで開催している。

オ 報告第67号 区域外就学の承認について

(ア) 概要

区域外就学の承認について、事務局より説明。

(イ) 内容

区域外就学の協議及び申請のあった1件を承認したことについて報告するもの。